

結果の概要

1 世帯の状況

この11年間で、「夫婦のみの世帯」の割合は増加、「三世代世帯」、「親なし子ありの世帯」の割合は減少

第1回調査から第12回調査までの11年間の世帯構成の変化をみると、「夫婦のみの世帯」は、第1回21.4%から第12回41.2%と増加している。一方、「三世代世帯」は、第1回22.3%から第12回13.6%、「親なし子ありの世帯」は、第1回39.2%から第12回26.3%と減少している。(図1)

第1回の世帯構成別に第12回の世帯構成をみると、「夫婦のみの世帯」に変化した割合は、「親なし子ありの世帯」の39.9%、「親あり子なしの世帯」の32.9%で高くなっている(表1)。

図1 第1回調査から第12回調査までの世帯構成の変化

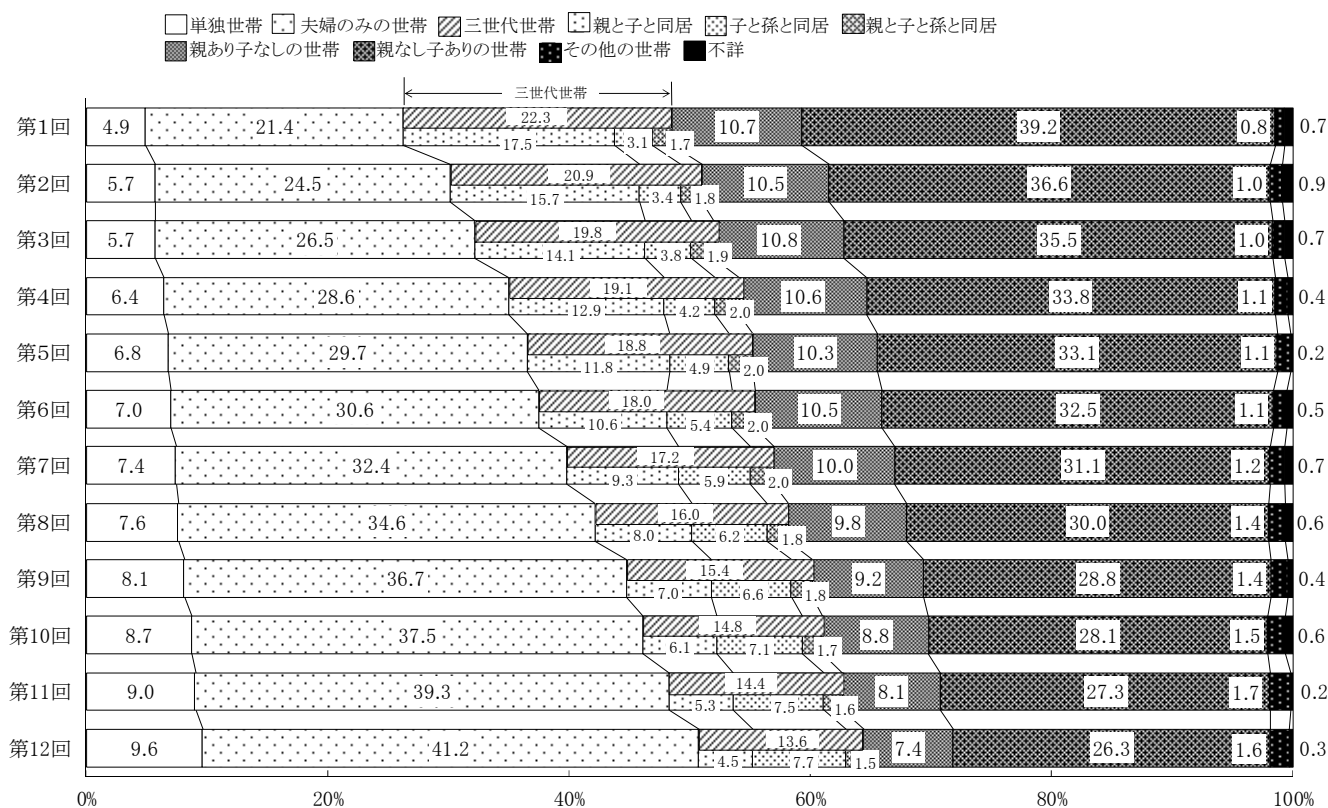


表1 第1回調査の世帯構成別にみた第12回調査の世帯構成

		第12回の世帯構成 (単位: %)							
		総数	単独世帯	夫婦のみの世帯	三世代世帯	親あり子なしの世帯	親なし子ありの世帯	その他の世帯	
第1回 の 世帯 構成	総数	(100.0)	100.0	9.6	41.2	13.6	7.4	26.3	1.6
	単独世帯	(4.9)	100.0	72.5	11.0	3.5	2.8	7.0	2.2
	夫婦のみの世帯	(21.4)	100.0	6.1	76.7	5.7	2.2	7.9	0.9
	三世代世帯	(22.3)	100.0	2.7	20.6	37.7	13.0	25.0	0.9
	親あり子なしの世帯	(10.7)	100.0	15.9	32.9	9.2	31.5	5.9	4.3
	親なし子ありの世帯	(39.2)	100.0	5.2	39.9	7.2	1.3	45.7	0.5
	その他の世帯	(0.8)	100.0	18.4	20.9	0.6	2.5	4.9	51.5

注: 総数には第1回及び第12回の世帯構成の不詳を含む。